

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	林業	コード 04-01-02	作成者 氏名 木村 昭広 電話 64-3810	役職 農林水産課長
--------------	----	-----------------	-------------------------------------	--------------

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標) もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	中項目(基本施策) 豊かな食を支えるまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	森林所有者や地域住民に対し、森林整備や治山事業を行い、良質な水資源の安定的な供給や山地災害の防止と住民の憩いの場の提供を計る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	人工林は各地に分散しており施業の共同化行いにくい。人工林のほとんどが若齢林で将来の伐採期に備え、適切な保育施業の必要がある。林業に対する関心の希薄化と後継者不足、林業労働者の高齢化及び森林の荒廃が問題である。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 林道の整備を図る。 治山事業の推進を図る。 造林事業の推進を図る。 森林組合などへの支援を行う。 	

施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
			H17		H18		H19		
			直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	
1 林道整備事業	B	小規模林道整備事業	ハード事業	0	3,203	12,373	6,260		
		林道維持管理事業(備前)	ハード事業	1,215		1,353			
		林道維持管理事業(日生)	維持管理	0		487			
		林道維持管理事業(吉永)	維持管理	1,240		2,146			
2 治山事業	B	単独事業	ハード事業	498	715	3,851	5,970		
		林地災害復旧事業	ハード事業	0		3,163			
		治山施設維持管理事業(日生)	維持管理	0		0			
		治山施設維持管理事業(吉永)	維持管理	0		0			
3 森林普及振興事業	C	生活環境保全林管理事業(備前)	ハード事業	2,016	9,239	2,355	2,139		
		水源林整備事業	ハード事業	494		493			
		林政事業	ソフト事業			0			
		松くい虫駆除事業	ハード事業	1,653		1,652			
		森林整備計画等事務	ソフト事業			0			
		森林管理巡視事業	内部管理	420		284			
		生活環境保全林管理事業(吉永)	ハード事業	1,000		850			
		森林総合利用施設管理運営事業	内部管理	800		0			
		保健保安林管理事業	ソフト事業	50		50			
		松くい虫予防事業	ハード事業	470		546			
		松くい虫被害対策地区推進連絡事業	内部管理	18		34			

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17 63,456	H18 60,211	H19
------------------------	---------------	---------------	-----

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	森林整備の基盤となる事業が予定どおり進行している。	3	林道計画に基づき、予算の範囲内で振興してほしい。
2 事業構成の適当性	3	森林保全に必要な事業である。	3	林道整備については補助率を考えると共に森林組合に協力していただくように。
3 施策の有効性	3	妥当な施策である。	3	林道整備及び治山事業については、計画策定が必要。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		森林保全のため、今後も事業投資が必要となりますが、地域の要望、緊急度等を考慮して事業を推進していく必要がある。		今後は山地災害の防止を重点的に整備する必要がある。
二次評価者コメント		林業関係予算は事業を精査して減らす努力をしなければならないと思う		平成20年度 予算の方向性 減配分

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	3.5		
満足度(%)	-12.7		

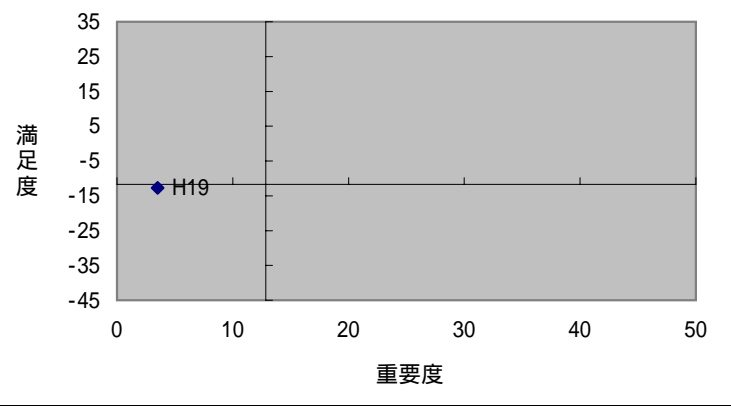
<見直し領域>
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>
現状の方向を継続

<検討領域>
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う

重要度 ← 低 → 高



調査結果に対するコメント、市民の反応等	山地災害の防止に夜生活環境の保全及び身近な自然とのふれあいの場としての森林の持つ重要性は高まっているが、重要度、満足度とも低い。
---------------------	------------------------------------------------------------------

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 林道開設延長	目標	%	5.0	10.0	40.0	70.0	整備済延長/実施計画 林道延長 5 1.5/1320
	実績	%	1.0	4.0			
	達成率	%	20.0	40.0			
2 森林面積	目標	ha	18,647.0	18,647.0			現有森林面積の確保
	実績	ha	18,647.0	18,647.0			
	達成率	%	100.0	100.0			
3	目標						
	実績						
	達成率	%					
4	目標						
	実績						
	達成率	%					

